

議案 1. 2002 年度事業報告

1. 会員数の動向 (2003 年 3 月 31 日)

会員数合計	4,344 (昨年より-122)
通常会員	3,870 (-53)
一般 A	2,706 (-38)
B	822 (-55)
学生 A	263 (+25)
B	79 (+15)
特別会員	134 (-65)
個人	24 (-30)
団体	110 (-35)
団体会員	284 (-3)
団体 A	130 (+6)
B	154 (-9)
賛助会員	42 (-1)
名誉会員	14 (0)

2. 機関誌等の刊行

- (1) 天気 49 巻 4 号～50 巻 3 号 12 冊 (1043 頁、内会員名簿 88 頁) 各号約 4600 部印刷
- (2) 気象集誌 80 巻 2 号～81 巻 1 号 (80 巻 4B) 7 冊 (1523 頁、内特別号 334 頁)
- (3) 気象研究ノート
202 号 「東南アジアのモンスーン気候学」
320 頁 1850 部 印刷
203 号 「ニューラルネットワークの
数理と気象への応用 (上)」
172 頁 2000 部 印刷
- (4) 予稿集 春季大会 (81) 1500 部 印刷
秋季大会 (82) 1500 部 印刷
- (5) 機関誌の電子ジャーナル化

3. 会議等の開催

- (1) 総会 2002 年 5 月 23 日大宮ソニックシティ
出席者：265 名、総会参加票：2,339 名
計：2,604 名
ア 2001 年度事業報告・決算報告、
2002 年度事業計画・予算が承認された。
イ 第 32 期日本気象学会役員選任が承認された
- (2) 理事会
第 31 期 (第 7 回) 2002 年 5 月 22 日大宮
第 31、32 期新旧理事・監事合同会議
2002 年 6 月 18 日東京
第 32 期 (第 1 回) 2002 年 6 月 18 日東京
第 32 期 (第 2 回) 2002 年 10 月 9 日北海道
第 32 期 (第 3 回) 2003 年 3 月 17 日東京
- (3) 常任理事会
第 31 期 (第 20 回) 気象学会事務室

- 第 31 期 (第 21 回) 大宮ソニックシティ
第 31 期 (第 22 回) 気象庁予報部会議室
第 32 期 (第 1～2 回) 気象学会事務室
第 32 期 (第 3 回) 北海道大学
第 32 期 (第 4～7 回) 気象学会事務室
第 32 期 (第 8 回) 東京管区气象台

(4) 評議員会

- 第 32 期 第 1 回 2003 年 3 月 17 日
会 場：東京管区気象台会議室

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会 2002 年 5 月 22～24 日
会 場：大宮ソニックシティ
(担当：国立極地研究所)
シンポジウム：21 世紀の極域科学
—今なぜ南極観測なのか—
- (2) 秋季大会 2002 年 10 月 9～11 日
会 場：北海道大学学術交流会館
百年記念会館
(担当：北海道支部)
シンポジウム：環オホーツク研究の新しい視点
- (3) 研究連絡会
ア IGBP/GAIM 研究連絡会
新 潟 2002 年 4 月 4 日
札 幌 2002 年 10 月 12 日
イ 極域・寒冷域研究連絡会
さいたま 2002 年 5 月 24 日
札 幌 2002 年 10 月 11 日
ウ メソ気象研究連絡会
東 京 2002 年 5 月 21 日
札 幌 2002 年 10 月 8 日
エ オゾン研究連絡会
さいたま 2002 年 5 月 22 日
札 幌 2002 年 10 月 9 日
オ 非静力学数値モデル研究連絡会
京 都 2002 年 11 月 30、12 月 1 日
- (4) 月例会
ア 第 46 回山の気象シンポジウム
東 京 2002 年 6 月 15 日
イ 長期予報と大気大循環
東 京 2002 年 10 月 28 日
- (5) 第 14 回夏の学校
東 京 2002 年 7 月 11～30 日
- (6) 他学会との共催等
ア 地球惑星科学関連学会 2002 年合同大会
2002 年 5 月 27～31 日
イ 第 39 回理工学における同位元素研究
発表会 2002 年 7 月 3～5 日
ウ 第 6 回水資源に関するシンポジウム

- 2002年8月2,3日
 エ 第19回エロゾル科学技術研究討論会
 2002年8月6~8日
 オ 第26回SCOR総会国際シンポジウム
 2002年10月1~5日
 カ 第17回風工学シンポジウム
 2002年12月4~6日
 キ 第52回理論応用力学講演会
 2003年1月28~30日
 ク 第49回風に関するシンポジウム
 2003年1月23日
 ケ 第18回北方圏国際シンポジウム
 2003年2月23~26日

5. 研究業績の表彰

- (1) 日本気象学会賞
 塩谷 雅人 京都大学宇宙電波科学研究センター
 長谷部文雄 茨城大学(現北海道大学)
 謝 尚平 国際太平洋研究センター
 (2) 藤原賞
 安成 哲三 筑波大学(現名古屋大学)
 地球水循環研究センター
 山岬 正紀 地球フロンティア研究システム
 (3) 山本・正野論文賞
 竹村 俊彦 九州大学応用力学研究所
 高谷康太郎 地球フロンティア研究システム
 (4) 堀内賞
 河村 公隆 北海道大学低温科学研究所
 林田佐智子 奈良女子大学
 (5) 奨励賞
 大沼 啓人 岐阜地方気象台
 上口 弘晃 新潟地方気象台
 平松 和彦 北海道旭川西高校
 森岩 聡 名古屋地方気象台

6. 支部活動

- (1) 北海道支部
 ア 研究発表会(札幌) 2002年6月7日
 イ 全国秋季大会(札幌) 2002年10月9~10日
 (2) 東北支部
 ア 気象講演会(福島) 2003年1月31日
 イ 支部講演会(仙台) 2002年11月27日
 (3) 中部支部
 ア 総会(名古屋) 2002年7月12日
 イ 支部・長野地台合同研究会(長野)
 2002年11月16,17日
 (4) 関西支部
 ア 総会・年会(大阪)
 イ 例会・講演会(岡山) 2002年11月16日
 (高知) 2002年11月27日

(神戸) 2003年2月20日

- (5) 九州支部
 ア 気象教室(福岡) 2002年8月24日
 イ 支部発表会(福岡) 2003年3月8日
 (6) 沖縄支部
 ア 親と子のお天気教室
 (嘉手納町) 2002年7月27日
 イ 気象研究会(那覇) 2002年11月13,14日
 ウ 防災気象講演会(那覇) 2003年1月20日

7. 普及活動

- (1) 第36回夏季大学
 2002年8月8~10日
 東京大学山上会館(本郷キャンパス内)
 「新しい気象学」—天気予報最前線—
 (2) 関西支部第24回夏季大学
 2002年8月7,8日 京都大学理学部
 —生活と気象—
 (3) 北海道支部第20回夏季大学
 2002年7月29,30日
 第1日目 札幌市青少年科学館
 第2日目 札幌管区気象台
 「新しい気象」
 (4) 中部支部 第9回気象講座
 2002年8月20日 名古屋
 —竜巻と雷—
 (5) 気象技術講習会
 ア 気象学の基礎(第6回)
 2002年8月~10月(毎週水曜日)
 気象学の基礎(第7回)
 2003年2月~4月(毎週水曜日)
 イ 専門課程(第5回)

8. 国際学術交流活動

- 国際学術研究会参加補助(2名)
 1) GEFD関連のSUMMER SCHOOL
 ケンブリッジ(イギリス)
 日尾 泰子(京都大学)
 2) 2002 Western Pacific Geophysics Meeting
 ケエリントン(ニュージーランド*)
 塩竈 秀夫(京都大学)

9. 電子情報関連

- (1) 気象庁数値データの研究機関への配信開始

10. その他

- (1) IUGG2003年準備
 (2) 地球物理学関連学会長等懇談会参加
 (3) 地球環境科学関連学会協議会参加

議案 2. 2002 年度収支決算報告

2-1 総括表

収支計算書総括表

2002年 4月 1日から2003年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【収入の部】				
会 費 収 入	40,378,736	40,378,736	0	
基 本 財 産 運 用	413,096	413,096	0	
事 業 収 入	41,035,184	18,317,236	22,717,948	
補 助 金 収 入	4,900,000	4,900,000	0	
寄 付 金 収 入	100,000	100,000	0	
雑 収 入	637,814	595,055	42,759	
繰 入 金 収 入	4,813,225	4,813,225	0	
当期収入合計(A)	92,278,055	69,517,348	22,760,707	
繰 越 収 支 差 額	21,685,228	19,798,821	1,886,407	
収 入 合 計(B)	113,963,283	89,316,169	24,647,114	
【支出の部】				
事 業 費	59,142,926	50,501,634	8,641,292	
管 理 費	30,039,921	21,631,843	8,408,078	
什 器 等 購 入 支 出	169,470	169,470	0	
繰 入 金 支 出	4,813,225	0	4,813,225	
当期支出合計(C)	94,165,542	72,302,947	21,862,595	
当期収支差額(A)-(C)	△ 1,887,487	△ 2,785,599	898,112	
次期繰越収支差額(B)-(C)	19,797,741	17,013,222	2,784,519	

貸借対照表総括表

2003年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【資産の部】				
流動資産	53,145,798	46,492,589	6,653,209	
固定資産				
基本財産	53,980,000	53,980,000	0	
その他の固定資産	2,875,003	2,875,003	0	
固定資産合計	56,855,003	56,855,003	0	
資産合計	110,000,801	103,347,592	6,653,209	
【負債の部】				
流動負債	30,938,546	29,480,346	1,458,200	
固定負債	2,241,457	2,241,457	0	
負債合計	33,180,003	31,721,803	1,458,200	
【正味財産の部】				
正味財産	76,820,798	71,625,789	5,195,009	
負債及び正味財産合計	110,000,801	103,347,592	6,653,209	

正味財産増減計算書総括表

2002年 4月 1日から2003年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【増加の部】				
資産増加額	369,528	169,470	200,058	
負債減少額	0	0	0	
増加額合計	369,528	169,470	200,058	
【減少の部】				
資産減少額	2,299,309	3,197,421	△ 898,112	
負債増加額	609,500	609,500	0	
減少額合計	2,908,809	3,806,921	△ 898,112	
当期正味財産減少額	2,539,281	3,637,451	△ 1,098,170	
前 期 繰 越 正 味 財 産 額	79,360,079	75,263,240	4,096,839	
期末正味財産合計額	76,820,798	71,625,789	5,195,009	

財産目録総括表
2003年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計
【資産の部】			
流動資産			
現 金 預 金	50,735,308	46,492,589	4,242,719
現金 現金手許有高	84,974	84,974	0
普 通 預 金	16,608,647	12,365,928	4,242,719
みずほ銀行 丸之内支店	16,586,815	12,344,096	4,242,719
中央三井信託銀行 本店営業部	924	924	0
UFJ銀行 東京営業部	20,908	20,908	0
郵 便 振 替 貯 金	16,887,404	16,887,404	0
中央郵便局	16,887,404	16,887,404	0
公 社 債 信 託	17,154,283	17,154,283	0
野村証券 東京支店	8,606,183	8,606,183	0
日興コディム証券 大手町支店	8,548,100	8,548,100	0
振 替 勘 定	0	0	0
棚 卸 資 産	2,410,490	0	2,410,490
流動資産合計	53,145,798	46,492,589	6,653,209
固定資産			
基本財産			
貸 付 信 託 預 金	22,370,000	22,370,000	0
住友信託銀行 日比谷支店	10,000,000	10,000,000	0
UFJ銀行 東京営業部①	6,500,000	6,500,000	0
UFJ銀行 東京営業部②	1,750,000	1,750,000	0
UFJ銀行 東京営業部③	600,000	600,000	0
中央三井信託銀行 日本橋営業部	3,520,000	3,520,000	0
公 社 債 信 託	31,610,000	31,610,000	0
野村証券 本店	16,540,000	16,540,000	0
大和証券 本店	9,420,000	9,420,000	0
日興コディム証券 大手町支店	5,650,000	5,650,000	0
基本財産合計	53,980,000	53,980,000	0
その他の固定資産			
金 銭 信 託 (退 職 引 当 預 金)	1,632,936	1,632,936	0
中央三井信託銀行 日本橋営業部	1,632,936	1,632,936	0
什 器 備 品	1,242,067	1,242,067	0
その他の固定資産合計	2,875,003	2,875,003	0
固定資産合計	56,855,003	56,855,003	0
資産合計	110,000,801	103,347,592	6,653,209
【負債の部】			
流動負債			
前 受 会 費	28,660,226	28,660,226	0
一般A	17,472,092	17,472,092	0
一般B	9,605,078	9,605,078	0
学生A	950,600	950,600	0
学生B	516,850	516,850	0
特別個人	115,606	115,606	0
預 り 金	820,120	820,120	0
懇親会費	115,000	115,000	0
藤田資金	430,120	430,120	0
その他預り金	275,000	275,000	0
未払法 人 税等	1,458,200	0	1,458,200
流動負債合計	30,938,546	29,480,346	1,458,200
固定負債			
退 職 金 引 当 金	2,241,457	2,241,457	0
固定負債合計	2,241,457	2,241,457	0
負債合計	33,180,003	31,721,803	1,458,200
正味財産	76,820,798	71,625,789	5,195,009

2-2 収支計算書

収支計算書

2002年 4月 1日から2003年 3月31日まで

公益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
【収入の部】				
会 費 収 入	[39,457,000]	[40,378,736]	[△ 921,736]	
通 常 会 員 会 費	30,386,000	30,680,215	△ 294,215	
特 別 会 員 会 費	784,000	1,118,320	△ 334,320	
団 体 会 員 会 費	5,337,000	5,730,726	△ 393,726	
賛 助 会 員 会 費	2,950,000	2,849,475	△ 100,525	
基 本 財 産 運 用	[616,000]	[413,096]	[202,904]	
基 本 金	126,000	39,092	86,908	
藤 本 原	0	2,114	△ 2,114	
山 本 ・ 正 野 論 文 賞	0	15,925	△ 15,925	
堀 内 賞	0	26,629	△ 26,629	
国 際 交 流 基 金	490,000	329,336	160,664	
事 業 収 入	[17,631,000]	[18,317,236]	[△ 686,236]	
天 氣 象 集 気 誌	1,030,000	489,205	540,795	
予 稿 集 集	5,880,000	7,238,901	△ 1,358,901	
大 会 稿 集 集	6,140,000	6,099,944	40,056	
教 育 と 開 催 及	3,513,000	3,356,500	156,500	
受 託 業 務 及	901,000	857,400	43,600	
そ の 他 事 業 収 入	0	239,166	△ 239,166	
補 助 金 収 入	167,000	36,120	130,880	
補 助 金 収 入	[4,100,000]	[4,900,000]	[△ 800,000]	
科 学 研 究 費	4,100,000	4,900,000	△ 800,000	
寄 付 金 収 入	[0]	[100,000]	[△ 100,000]	
寄 付 金	0	100,000	△ 100,000	
雑 収 入	[251,500]	[595,055]	[△ 343,555]	
受 取 利 息	39,500	4,037	35,463	
著 作 権 複 写 許 可 料	212,000	249,986	△ 37,986	
そ の 他	0	341,032	△ 341,032	
繰 入 金 収 入	[0]	[4,813,225]	[△ 4,813,225]	
収 益 会 計 よ り 繰 入 金 収 入	0	4,813,225	△ 4,813,225	
当期収入合計(A)	62,055,500	69,517,348	△ 7,461,848	
繰 越 収 支 差 額	19,798,821	19,798,821	0	
収入合計(B)	81,854,321	89,316,169	△ 7,461,848	
【支出の部】				
事 業 費	[45,917,000]	[50,501,634]	[△ 4,584,634]	
天 氣 象 集 気 誌	21,530,000	24,189,630	△ 2,659,630	
予 稿 集 集	10,806,000	14,531,761	△ 3,725,761	
大 会 稿 集 集	2,322,000	2,307,021	14,979	
教 育 と 開 催 及	5,660,000	5,320,082	339,918	
表 彰 ・ 普 奨 及 励	1,369,000	978,500	390,500	
国 際 学 術 交 流 会	2,560,000	2,767,640	△ 207,640	
研 究 連 絡 会	1,320,000	312,000	1,008,000	
そ の 他 事 業 費	350,000	80,000	270,000	
管 理 費	0	15,000	△ 15,000	
管 理 費	[22,499,000]	[21,631,843]	[867,157]	
人 事 務 局 関 連 経 費	11,671,500	12,530,086	△ 858,586	
電 算 機 情 報 管 理	6,609,250	4,946,304	1,662,946	
電 算 機 開 発 管 理	129,750	130,148	△ 398	
電 算 機 開 発 管 理	735,000	282,110	452,890	
総 会 役 員 会	1,213,500	1,579,232	△ 365,732	
支 部 交 付 金	1,875,000	1,742,963	132,037	

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
租 税 公 課	265,000	226,000	39,000	
そ の 他	0	195,000	△ 195,000	
什 器 等 購 入 支 出	[0]	[169,470]	[△ 169,470]	
引 当 金 繰 入	[690,500]	[0]	[690,500]	
退 職 引 当 金	690,500	0	690,500	
予 備 費	[750,000]	[750,000]		
当期支出合計(C)	69,856,500	72,302,947	△ 2,446,447	
当期収支差額(A)-(C)	△ 7,801,000	△ 2,785,599	△ 5,015,401	
次期繰越収支差額(B)-(C)	11,997,821	17,013,222	△ 5,015,401	

収 支 計 算 書

2002年 4月 1日から2003年 3月31日まで

収益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備考
【収入の部】				
事 業 収 入	[22,024,000]	[22,717,948]	[△ 693,948]	
天 気 象 集 気 誌	5,610,000	5,627,853	△ 17,853	
気 象 研 究 ノ 一 ト	1,479,000	2,624,068	△ 1,145,068	
予 稿 集	11,885,000	11,230,108	654,892	
書 店 扱 い	850,000	726,950	123,050	
雑 収 入	2,200,000	2,508,969	△ 308,969	
著 作 権 複 写 許 可 料	[25,000]	[42,759]	[△ 17,759]	
印 税	0	42,759	△ 42,759	
当期収入合計(A)	25,000	0	25,000	
繰 越 収 支 差 額	22,049,000	22,760,707	△ 711,707	
収 入 合 計 (B)	1,886,407	1,886,407	0	
	23,935,407	24,647,114	△ 711,707	
【支出の部】				
事 業 費	[12,547,000]	[8,641,292]	[3,905,708]	
天 気 象 集 気 誌	2,825,000	2,537,755	287,245	
気 象 研 究 ノ 一 ト	1,048,000	938,905	109,095	
予 稿 集	8,620,000	5,127,681	3,492,319	
管 理 費	54,000	36,951	17,049	
人 事 務 局 関 連 経 費	[7,516,000]	[8,408,078]	[△ 892,078]	
電 算 機 開 発 管 理 費	3,890,500	4,176,696	△ 286,196	
電 算 機 開 発 管 理 費	2,007,750	1,645,266	362,484	
電 算 機 開 発 管 理 費	43,250	43,383	△ 133	
電 算 機 開 発 管 理 費	245,000	94,036	150,964	
電 算 機 開 発 管 理 費	404,500	526,410	△ 121,910	
支 部 交 付 金	625,000	580,987	44,013	
租 税 公 課	300,000	276,300	23,700	
法 人 税 等	0	1,000,000	△ 1,000,000	
そ の 他	0	65,000	△ 65,000	
繰 入 金 支 出	[0]	[4,813,225]	[△ 4,813,225]	
公 益 会 計 へ 繰 入 金 支 出	0	4,813,225	△ 4,813,225	
予 備 費	[250,000]	[250,000]		
当期支出合計(C)	20,313,000	21,862,595	△ 1,549,595	
当期収支差額(A)-(C)	1,736,000	898,112	837,888	
次期繰越収支差額(B)-(C)	3,622,407	2,784,519	837,888	

2-3 貸借対照表

貸借対照表
2003年 3月31日現在

公益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現 金 預 金	46,492,589	
振 替 勘 定	0	
流動資産合計		46,492,589
固定資産		
基本財産		
貸 付 信 託 預 金	22,370,000	
公 社 債 信 託	31,610,000	
基本財産合計		53,980,000
その他の固定資産		
金 銭 信 託 (退 職 引 当 預 金)	1,632,936	
什 器 備 品	1,242,067	
その他の固定資産合計		2,875,003
固定資産合計		56,855,003
資産合計		103,347,592
【負債の部】		
流動負債		
前 受 会 費	28,660,226	
預 り 金	820,120	
流動負債合計		29,480,346
固定負債		
退 職 金 引 当 金	2,241,457	
固定負債合計		2,241,457
負債合計		31,721,803
【正味財産の部】		
正味財産		71,625,789
(うち基本金)		(53,980,000)
(うち当期正味財産減少額)		(3,637,451)
負債及び正味財産合計		103,347,592

収益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現 金 預 金	4,242,719	
振 替 勘 定	0	
棚 卸 資 産	2,410,490	
流動資産合計		6,653,209
資産合計		6,653,209
【負債の部】		
流動負債		
未 払 法 人 税 等	1,458,200	
流動負債合計		1,458,200
負債合計		1,458,200
【正味財産の部】		
正味財産		5,195,009
(うち当期正味財産増加額)		(1,098,170)
負債及び正味財産合計		6,653,209

2-4 正味財産増減計算書

正味財産増減計算書
2002年 4月 1日から2003年 3月31日まで

公益会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
什器備品増加額	169,470	169,470	
負債減少額			
増加額合計			169,470
【減少の部】			
資産減少額			
当期収支差額	2,785,599		
什器備品減少額	411,822	3,197,421	
負債増加額			
退職引当金繰入額	609,500	609,500	
減少額合計			3,806,921
当期正味財産減少額			3,637,451
前期繰越正味財産額			75,263,240
期末正味財産合計額			71,625,789

収益会計

(単位:円)

科 目	金 額		
【増加の部】			
資産増加額			
当期収支差額	898,112		
棚卸資産増加額	200,058	1,098,170	
負債減少額			
増加額合計			1,098,170
【減少の部】			
資産減少額			
負債増加額			
減少額合計			0
当期正味財産増加額			1,098,170
前期繰越正味財産額			4,096,839
期末正味財産合計額			5,195,009

2-5 財産目録

財産目録
2003年 3月31日現在

公益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現金 預 金	46,492,589	
現金 現金手許有高	84,974	
普 通 預 金	12,365,928	
みずほ銀行 丸之内支店	12,344,096	
中央三井信託銀行 本店営業部	924	
UFJ銀行 東京営業部	20,908	
郵 便 振 替 貯 金	16,887,404	
中央郵便局	16,887,404	
公 社 債 信 託	17,154,283	
野村証券 東京支店	8,606,183	
日興コディ証券 大手町支店	8,548,100	
振 替 勘 定	0	
流動資産合計		46,492,589
固定資産		
基本財産		
貸 付 信 託 預 金	22,370,000	
住友信託銀行 日比谷支店	10,000,000	
UFJ銀行 東京営業部①	6,500,000	
UFJ銀行 東京営業部②	1,750,000	
UFJ銀行 東京営業部③	600,000	
中央三井信託銀行 日本橋営業部	3,520,000	
公 社 債 信 託	31,610,000	
野村証券 本店	16,540,000	
大和証券 本店	9,420,000	
日興コディ証券 大手町支店	5,650,000	
基本財産合計		53,980,000
その他の固定資産		
金 銭 信 託 (退 職 引 当 預 金)	1,632,936	
中央三井信託銀行 日本橋営業部	1,632,936	
什 器 備 品	1,242,067	
その他の固定資産合計		2,875,003
固定資産合計		56,855,003
資産合計		103,347,592
【負債の部】		
流動負債		
前 受 会 費	28,660,226	
一般A	17,472,092	
一般B	9,605,078	
学生A	950,600	
学生B	516,850	
特別個人	115,606	
預 り 金	820,120	
懇親会費	115,000	
藤田資金	430,120	
その他預り金	275,000	
流動負債合計		29,480,346
固定負債		
退 職 金 引 当 金	2,241,457	
固定負債合計		2,241,457

科 目	金 額	
負債合計		31,721,803
正味財産		71,625,789

財産目録
2003年 3月31日現在

収益会計

(単位:円)

科 目	金 額	
【資産の部】		
流動資産		
現 金 預 金	4,242,719	
普 通 預 金	4,242,719	
みずほ銀行 丸之内支店	4,242,719	
振 替 勘 定 簿	0	
棚 卸 資 産	2,410,490	
流動資産合計		6,653,209
資産合計		6,653,209
【負債の部】		
流動負債		
未払法人税等	1,458,200	
流動負債合計		1,458,200
負債合計		1,458,200
正味財産		5,195,009

2-6 計算書に対する注記

1. 重要な会計方針

- 1) 有価証券の評価基準及び評価方法・・・総平均法による原価基準を採用している。
- 2) 固定資産の減価償却・・・什器備品は定率法による減価償却を実施している。
- 3) 引当金の計上基準・・・退職給与引当金は期末退職給与の要求額に相当する金額を計上している。
- 4) 資金の範囲・・・現金預金、預かり金及び前受け金を含めることとしている。

2. 次期繰越収支差額の内容は次の通りである。

科目	当期末残高	公益部門	収益部門
現金	84,974	84,974	0
普通預金	16,608,647	12,865,928	4,242,719
郵便振替貯金	16,887,404	16,887,404	0
公社債信託	17,154,283	17,154,283	0
合計	50,735,308	46,492,589	4,242,719
前受会費	28,660,226	28,660,226	0
預り金	820,120	820,120	0
法人税等引当金	1,458,200	0	1,458,200
次期繰越収支差額	19,797,741	17,013,222	2,784,519

3. 基本財産の増減及びその残高は次の通りである。

科目	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本金	0	0	11,750,000
藤原賞	0	0	3,520,000
山本・正野論文賞	0	0	6,500,000
国際学術交流基金	0	0	25,960,000
堀内賞	0	0	6,250,000
合計	0	0	53,980,000

4. 固定資産の取得価格、原価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	1,653,889	411,822	1,242,067
合計	1,653,889	411,822	1,242,067

議案 3

2002 年度社団法人日本気象学会監査報告

2002 年度社団法人日本気象学会財産及び業務執行の監査結果を次のとおり報告する。

1. 監査月日

2003 年 4 月 7 日

2. 監査場所

東京都千代田区大手町 1-3-4 気象庁内
日本気象学会事務局

3. 監査帳簿

- (1) 2002 年度会計監査受検調書
- (2) 総勘定元帳
- (3) 財産目録
- (4) 現金出納帳
- (5) 預貯金出納帳
- (6) 備品台帳
- (7) 領収書類
- (8) 預金証書および普通預金通帳
- (9) 郵便振替受払通知票
- (10) 現金受領簿
- (11) 2002 年度事業報告書

4. 監査内容

- (1) 2002 年度収支計算書およびその他の計算書について、その経理状況を監査すると共に財政状況を調べた。
- (2) 上記の帳簿類について照合を行うと共に出納状況記載事項の監査を実施した。
- (3) 学会の運営状況を聴取し意見を述べた。

5. 監査意見

2002 年度 (2002 年 4 月 1 日から 2003 年 3 月 31 日まで) の会計に関する帳簿類は、照合の結果、正確であり、収支計算書その他の計算書は正しいと認める。

会費の納入状況は昨年度に引き続き順調に推移している。2002 年度の収支は、収入が増加したものの支出が増え、公益事業は約 280 万円の赤字、収益事業は約 90 万円の黒字になり、差し引きの当期収支差額は約 190 万円の赤字であった (法人税引当金 100 万円を含む)。過去の累積黒字による繰り越し金 (約 2170 万円) の有効活用が昨年の監査で指摘されていたため当初から赤字予算が計上されていたことがあり、単年度の赤字はそれほど問題視する必要はない。但し、次に述べる会員数減少の傾向があるので、収支状況の健全性について

は、今後注意していく必要がある。

会員数については、1999 年度以降減少が続いており通常会員は、2002 度は 53 名 (約 1.4%) の減少となった。減少傾向は特に B 会員で顕著で、2002 年度は 55 名 (約 6.3%) とこれまでで最大の減少であった。会員減少の理由の一つとして昨年から実施されている「気象集誌」と「天気」の電子ジャーナル化による影響が考えられる。昨年の監査でも指摘されたが、会員退会の理由を含めて実状を把握し、会員制度のあり方を含め、総合的な検討と対策が求められる。また A 会員についても「天気」が「気象」廃刊の受け皿になる期待に反して 38 名の減少になっている。気象予報士資格者に対して入会を促すなど会員増のためのより積極的な取り組みが検討されるべきと考える。


昨年の監査報告で触れられた大会の会期については、今期は大会の会期が土曜日を含む 4 日間に延長された。これまでより幅広い分野の会員が大会に参加できるようになった点で望ましい変更と考えるが、引き続き会員の意見や評議員会等での議論も踏まえながら、継続するかどうかを検討して頂きたい。

国際学術交流事業については、学会などへの参加旅費補助の決算額が予算額の 1/3 以下に留まった。利用者減については研究機関の独立行政法人化に伴う旅費環境の変化なども考えられるが、旅費補助制度の周知が必ずしも十分でない可能性も考えられる。執行状況を見ながら早めに再募集を行うなど機動的な運用によって、有効利用が行なわれるよう期待する。

この一年間、様々な学会活動に熱心に取り組んでこられた理事、各委員会委員、事務局の努力に敬意を表する。

2003 年 4 月 9 日

監事

脊藤和雄 

監事

永田 雅 

議案 4. 日本気象学会細則の一部追加

1. 細則追加の内容と趣旨

社団法人 日本気象学会細則の一部追加及び（社）日本気象学会における基本財産の運用益の用途に関する規定の制定について平成 14 年 9 月に、文部科学省研究振興局学術研究助成課により行われた「平成 14 年度公益法人概況調査」の公益法人の内部留保に関する調査において、社団法人の基本財産は、そのままでは「公益事業を実施するために有している基金」とは見なされないため、運用益の用途を特定の事業に限定する旨の内部規定を制定するようにとの指摘を同課より受けました。

つきましては、別紙 1 に示す、社団法人 日本気象学会細則に運用益の用途に関する規定を追加する一部追加と、（社）日本気象学会における基本財産の運用益の用途に関する規定の制定を行うことを提案いたします。

2. 細則の一部追加

第8章の次に下記の第9章 第31条を追加する。

第9章 運用益の使途

第31条 本会における基本財産の運用益の使途に関しては、理事会が別途定める規定による。
(平 15. 5. 22. 本章追加)

3. (社) 日本気象学会における基本財産の運用益の使途に関する規定

(目的)

第1条 この規定は、基本財産の運用益の使途に関し必要な事項を定め、その適正な執行を確保することを目的とする。

(使 途)

第2条 基本財産の運用益の使途は、定款第5条第4号に定める事業の実施に限定する。

(規定の変更)

第3条 この規定を変更するときは、理事会の承認を得なければならない。

附 則

この規定は、平成15年5月22日から施行する。

議案 5. 理事の辞任に伴う後任の推薦について

日本気象学会第32期の理事から理事を辞任したいとの希望が理事長に対して提出され、日本気象学会定款第21条の規定に従って理事会としてこれを承認しました。また、後任の理事候補としては、日本気象学会細則第6条第11項の規定により、理事会の議を経て、各所属支部から推薦のあった会員を理事長から推薦することにいたしました。総会で審議していただくようお願いいたします。

なお、今回辞任された理事と、後任理事候補者は以下の通りです。(敬称略)

辞任理事： 大西 晴夫理事（北海道地区推薦）
 牧原 康隆理事（東北地区選出）
 村松 照男理事（中部地区推薦）
 平木 哲理事（九州地区選出）

後任理事候補者： 菊池 正（北海道地区）
 栗原 弘一（東北地区）
 井石 明宏（中部支部）
 渡辺 典昭（九州地区）

北海道地区 1名

候補者名：菊池 正会員

所 属：気象庁札幌管区気象台

生年月日：1954年9月11日生

推薦理由：

菊池会員は、本年4月に札幌管区気象台技術部予報課長に着任し、北海道内における予報業務の総括責任者としての業務に従事している。菊池会員はこれまで、室蘭、根室、札幌での勤務経験があるほか、気象衛星センターや本庁予報課で気象衛星資料の利活用技術の開発や実際の予報作業にも従事し、これらの分野での深い知識と経験を有している。

気象学会との関連では、「天気」編集委員として学会活動を支える活動にも携わってきた。また、本年3月までの2年間、神戸海洋気象台で海洋気象学会の理事を務めるなど、気象学の周辺分野とも繋がりをもった活動を行ってきた。

これらのことから、菊池会員を日本気象学会第32期理事として推薦する。

東北地区 1名

候補者：栗原 弘一会員

所 属：気象庁仙台管区気象台

生年月日：1952年7月31日

推薦理由：

栗原会員は、現在仙台管区気象台技術部長の職にあるが、前任の気象庁気候・海洋気象部気候情報課予報官で、気象庁の長期予報および関連する技術開発の専門家として活躍してきたのをはじめ、長年長期予報の分野で多くの実績を重ねてきている。東北地方は、夏季のやませ・冷夏、冬季の雪等の季節現象が顕著であり、長期予報に対する関心も高く、これらについての研究が鋭意すすめられていることから、この分野に専門的な知識と経験を有する栗原会員は、東北選出の理事として、地区会員を代表し、ひいては気象学会発展のために活躍することが期待される。以上のことから理事候補として推薦する。

中部地区 1名

候補者名：井石 明宏会員

所 属：気象庁名古屋地方気象台

生年月日：1943年8月14日

推薦理由：

井石会員は、気象庁気候・海洋気象部の海務課の補佐官として海洋気象業務を広く管轄、指導したのち、総務部の企画課防災調整官に就任、広範囲の気象防災行政を担当、次いで釧路地方気象台長として地方業務を指導した後、気象庁産業気象課長として、気象庁内外の気象行政を社会的な観点から対象とする業務の責任者として活躍した。

このように同会員は多岐にわたる分野で指導的な働きをしており、広く社会に貢献し幅広い活動が求められている学会活動におおいに貢献が期待されるとともに、東海ブロックの中心の地方気象台長として、第32期の地区推薦理事として中部地区の学会活動と運営に活躍することが期待できる。

九州地区 1名

候補者名：渡辺 典昭会員

所 属：気象庁福岡管区気象台

生年月日：1955年1月9日

推薦理由：

渡辺会員は気象庁で主に季節予報業務に従事しており、現在は福岡管区気象台技術部気候・調査課長の職に就いている。東京管区気象台に勤務した時には、講演企画委員を務めるとともに春季大会の運営に従事するなど、学会の活動にも積極的に貢献してきた。渡辺会員の季節予報に係る動向に関する幅広い知識やこれまでの学会の活動における豊富な経験が、今後の学会の活動に十分生かされると期待されることから、渡辺会員を理事候補として推薦する。

議案 6. 2003 年度事業計画 (案)

1. 機関誌等の刊行

- (1) 天 気 50 巻 4 号～51 巻 3 号
- (2) 気象集誌 81 巻 2 号～82 巻 1 号
- (3) 気象研究ノート 204 号～206 号
- (4) 大会予稿集
春季大会 83 号 秋季大会 84 号
- (5) 電子ジャーナル版 天気・気象集誌

2. 会議等の開催

- 通常総会 2003 年度総会 (5 月 22 日)
 理事会 3 回 (5 月、10 月、3 月)
 常任理事会 11 回
 評議員会 1 回 (3 月)
 監事会 1 回 (4 月)

3. 各委員会等の活動

- 天気編集委員会
 気象集誌編集委員会
 気象研究ノート編集委員会
 総合計画委員会
 講演企画委員会
 教育と普及委員会
 学会賞候補者推薦委員会等
 国際学術交流委員会
 電子情報委員会
 用語検討委員会
 地球環境問題委員会
 名誉会員推薦委員会

4. 大会及び研究会等

- (1) 春季大会
2003 年 5 月 21 (水)～24 日 (土)
会場：エポカル筑波
(担当：筑波大学他)

東アジア気象学会交流会 5 月 22 日
 シンポジウム 5 月 23 日(金)

題名：ヒートアイランド
 —熱帯夜の熱収支—

(2) 秋季大会

2003 年 10 月 15 (水)～17 日 (金)

会場：仙台市 宮城県民会館・勾当台会館

(担当：東北支部)

シンポジウム 10 月 16 日

題名：東アジア域における環境変化
 と気候

(3) 研究連絡会

- ・メソ気象研究連絡会
- ・オゾン研究連絡会
- ・大気海洋陸面相互作用研究連絡会
- ・IGBP / GAIM 研究連絡会
- ・極域・寒冷域研究連絡会
- ・気象教育研究連絡会
- ・非静力学数値モデル研究連絡会
- ・地球観測衛星研究連絡会
- ・天気予報研究連絡会

(4) 月例会

- ・山の気象シンポジウム
- ・長期予報と大気大循環
- ・レーダー気象

(5) 気象若手会 夏の学校

5. 研究業績の表彰

- ・日本気象学会賞
- ・藤原賞
- ・山本・正野論文賞
- ・堀内賞
- ・奨励賞

6. 支部活動

各支部研究発表会・気象講演会

- (1) 北海道支部
期 日：2003年10月24日
題 目：旭川市周辺の自然災害
～冷害、豪雪、気候変動、火山噴火
に関する最近の調査研究から～
- (2) 東北支部
期 日：2003年9月20日
題 目：宇宙から見るロマン海都石巻の
未来産業
- (3) 関西支部
4回（近畿地区2回、中国、四国
地区で各1回）
- (4) 九州支部
2003年8月（福岡）、2004年3月（鹿
児島）開催予定
題 目：未定
- (5) 沖縄支部
期 日：2003年9月予定
題 目：未定（防災気象関係）

7. 普及活動

- (1) 第37回夏季大学
期 日：2003年8月4（月）～6日（水）
題 目：都市の気象と災害
- (2) 北海道支部第21回夏季大学
期 日：2003年7月下旬予定
題 目：新しい気象学
- (3) 中部支部 第10回気象講座
期 日：2003年8月（予定）
題 目：未定
- (4) 関西支部第25回夏季大学
期 日：2003年8月予定
題 目：未定
- (5) 気象技術講習会

8. 対外活動

- (1) IUGG2003 総会共催
- (2) 地球環境科学関連学会協議会参加
- (3) 地球惑星科学関連学会合同大会の
テーマ別セッション共催
- (4) 第18回風工学シンポジウム共催
- (5) 第40回理工学における同位元素・放
射線研究発表会共催
- (6) 第53回理論応用力学講演会共催

9. 国際学術交流活動

- (1) 気象学における国際的な発展及び交流
を図るための、国際交流事業への支援
を行う
- (2) ゴールドシュミット国際会議後援
- (3) 日中韓の気象学会の交流促進

10. 電子情報関連

- (1) 学会ホームページ管理運営
- (2) 気象データの有効利用
- (3) メールリストの管理

11. 第33期役員選挙

告 示：2003年12月「天気」誌上
候補締切：2004年1月末
投 票：2004年3月上旬
選 任：2004年5月総会

12. 事務局の構成

事務局長	舘	英男
	鈴木	忠臣
	島村	泰正
	遠藤	和子

議案 7. 2003 年度収支予算書 (案)

収支予算書総括表

2003年 4月 1日から2004年 3月31日まで

7-1 総括表

(単位:円)

科 目	合 計	公益会計	収益会計	
【収入の部】				
会 費 収 入	39,615,000	39,615,000	0	
基 本 財 産 運 用	391,000	391,000	0	
事 業 収 入	39,121,000	18,622,000	20,499,000	
補 助 金 収 入	4,500,000	4,500,000	0	
引 当 金 取 崩 収 入	1,660,000	1,660,000	0	
雑 収 入	642,000	589,000	53,000	
当期収入合計(A)	85,929,000	65,377,000	20,552,000	
繰 越 収 支 差 額	0	0	0	
収入合計(B)	85,929,000	65,377,000	20,552,000	
【支出の部】				
事 業 費	57,834,000	50,787,000	7,047,000	
管 理 費	30,200,000	22,913,000	7,287,000	
引 当 金 繰 入	600,000	600,000	0	
予 備 費	500,000	375,000	125,000	
当期支出合計(C)	89,134,000	74,675,000	14,459,000	
当期収支差額(A)-(C)	△ 3,205,000	△ 9,298,000	6,093,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	△ 3,205,000	△ 9,298,000	6,093,000	

収支予算書

7-2 収支予算書

2003年 4月 1日から2004年 3月31日まで

公益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
【収入の部】				
会 費 収 入	[39,615,000]	[39,457,000]	[158,000]	
通 常 会 員 会 費	30,123,000	30,386,000	△ 263,000	
特 別 会 員 会 費	1,291,000	784,000	△ 507,000	
団 体 会 員 会 費	5,351,000	5,337,000	△ 14,000	
賛 助 会 員 会 費	2,850,000	2,950,000	△ 100,000	
基 本 財 産 運 用 金	[391,000]	[616,000]	[△ 225,000]	
基 本 金	62,000	126,000	△ 64,000	
国 際 交 流 基 金	329,000	490,000	△ 161,000	
事 業 収 入	[18,622,000]	[17,631,000]	[991,000]	
天 象 集 誌	399,000	1,030,000	△ 631,000	
予 稿 集	7,296,000	5,880,000	△ 1,416,000	
大 会 開 催	5,680,000	6,140,000	△ 460,000	
教 育 と 普 及	4,328,000	3,513,000	△ 815,000	
そ の 他 事 業 収 入	856,000	901,000	△ 45,000	
補 助 金 収 入	63,000	167,000	△ 104,000	
科 学 研 究 費	[4,500,000]	[4,100,000]	[400,000]	
引 当 金 取 崩 収 入	4,500,000	4,100,000	△ 400,000	
退 職 金 引 当 金	[1,660,000]	[0]	[1,660,000]	
雑 収 入	1,660,000	0	△ 1,660,000	
受 取 利 息	[589,000]	[251,500]	[337,500]	
著 作 権 複 写 許 可 料	4,000	39,500	△ 35,500	
そ の 他	245,000	212,000	△ 33,000	
	340,000	0	△ 340,000	
当期収入合計(A)	65,377,000	62,055,500	3,321,500	
繰 越 収 支 差 額	0	19,798,821	△ 19,798,821	
収入合計(B)	65,377,000	81,854,321	△ 16,477,321	
【支出の部】				
事 業 費	[50,787,000]	[45,917,000]	[4,870,000]	
天 象 集 誌	24,339,000	21,530,000	△ 2,809,000	
予 稿 集	13,636,000	10,806,000	△ 2,830,000	
大 会 開 催	2,229,000	2,322,000	△ 93,000	
教 育 と 普 及	5,964,000	5,660,000	△ 304,000	
表 彰 ・ 奨 励	950,000	1,369,000	△ 419,000	
国 際 学 術 交 流 会	1,943,000	2,560,000	△ 617,000	
研 究 連 絡 費	1,326,000	1,320,000	△ 6,000	
管 理 費	400,000	350,000	△ 50,000	
人 件 費	[22,913,000]	[22,499,000]	[414,000]	
退 職 金	12,161,000	11,671,500	△ 489,500	
事 務 局 関 連 経 費	1,660,000	0	△ 1,660,000	
電 子 情 報	4,569,000	6,609,250	△ 2,040,250	
電 算 機 開 発 管 理	126,000	129,750	△ 3,750	
電 算 機 開 発 管 理 会	492,000	735,000	△ 243,000	
総 務 部 員 会 用	1,540,000	1,213,500	△ 326,500	
選 挙 費	396,000	0	△ 396,000	
支 部 交 付 金	1,743,000	1,875,000	△ 132,000	
租 税 公 課	226,000	265,000	△ 39,000	
引 当 金 繰 入	[600,000]	[690,500]	[△ 90,500]	
退 職 引 当 金	600,000	690,500	△ 90,500	
予 備 費	[375,000]	[750,000]	[△ 375,000]	
当期支出合計(C)	74,675,000	69,856,500	4,818,500	

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
当期収支差額(A)-(C)	△ 9,298,000	△ 7,801,000	△ 1,497,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	△ 9,298,000	11,997,821	△ 21,295,821	

収 支 予 算 書

2003年 4月 1日から2004年 3月31日まで

収益会計

(単位:円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	備考
【収入の部】				
事 業 収 入	[20,499,000]	[22,024,000]	[△ 1,525,000]	
天 氣 象 集 気 誌	6,253,000	5,610,000	643,000	
天 氣 象 集 気 誌	2,698,000	1,479,000	1,219,000	
天 氣 象 研 究 ノ 一 ト	7,541,000	11,885,000	△ 4,344,000	
予 稿 集	1,082,000	850,000	232,000	
書 店 扱 い	2,925,000	2,200,000	725,000	
雑 作 権 複 写 許 可 料	[53,000]	[25,000]	[28,000]	
印 税	43,000	0	43,000	
印 税	10,000	25,000	△ 15,000	
当期収入合計(A)	20,552,000	22,049,000	△ 1,497,000	
繰 越 収 支 差 額	0	1,886,407	△ 1,886,407	
収入合計(B)	20,552,000	23,935,407	△ 3,383,407	
【支出の部】				
事 業 費	[7,047,000]	[12,547,000]	[△ 5,500,000]	
天 氣 象 集 気 誌	2,407,000	2,825,000	△ 418,000	
天 氣 象 集 気 誌	870,000	1,048,000	△ 178,000	
天 氣 象 研 究 ノ 一 ト	3,725,000	8,620,000	△ 4,895,000	
予 稿 集	45,000	54,000	△ 9,000	
管 理 費	[7,287,000]	[7,516,000]	[△ 229,000]	
人 事 費	4,054,000	3,890,500	163,500	
事 務 局 関 連 経 費	1,523,000	2,007,750	△ 484,750	
電 算 機 開 情 報 管 理 費	43,000	43,250	△ 250	
電 算 機 開 情 報 管 理 費	164,000	245,000	△ 81,000	
総 会 役 員 会	514,000	404,500	109,500	
選 挙 費 用	132,000	0	132,000	
支 部 交 付 金	581,000	625,000	△ 44,000	
租 税 公 課	276,000	300,000	△ 24,000	
予 備 費	[125,000]	[250,000]	[△ 125,000]	
当期支出合計(C)	14,459,000	20,313,000	△ 5,854,000	
当期収支差額(A)-(C)	6,093,000	1,736,000	4,357,000	
次期繰越収支差額(B)-(C)	6,093,000	3,622,407	2,470,593	